

浜名高校グラデュエーションポリシー「志ある人」の姿（全日制・定時制共通）

「志ある人」 Hamana ICL s (Inspired and Compassionate Lifelong-Learners)

Inspired

好奇心旺盛で、探究心を持つ姿勢。新しい知識を得ることにワクワクしたり、目標に対し前向きに努力する態度。

Compassionate

困っている人を助けたり、他者の視点や感情を理解しようとする態度。チームワークや社会貢献において重要な要素。

Lifelong Learners

学校教育を超えて、生涯にわたり学び続ける姿勢。自己成長や柔軟性、時代に適応する能力の象徴。

ICL1 探究する人

好奇心と学ぶ意欲を持ち、ひとりで、または他の人々と一緒に学ぶことにより、探究し研究するスキルを身につけます。学ぶ喜びを追求し、生涯にわたって新しい知識や経験を求め続けます。

ICL2 考える人

複雑な問題を分析し、責任ある行動がとれるよう、批判的かつ創造的に物事を考えます。常に冷静な思考を心がけ、理性的で倫理的な判断をします。

ICL3 コミュニケーションができる人

自分の考えや気持ちを多様な方法でわかりやすく表現するとともに、他者の意見や価値観を尊重し、共感を持って協力しながら物事を進めます。

ICL4 挑戦し、振り返りができる人

困難を恐れず挑戦します。失敗を学びと捉え、計画的かつ柔軟に努力を続けます。自己の長所と短所を理解し、行動や経験を客観的に振り返り、改善の機会を自己成長につなげます。

ICL5 知識のある人

幅広い知識と物事の本質を探究する力を身に付けます。それらを活用して、地域社会やグローバル社会における課題に取り組みます。

ICL6 信念をもつ人

誠実で正直な態度を持ち、公正な判断と強い正義感を持って行動します。また、すべての人々の尊厳と権利を尊重し、自分の行動とその結果に責任を持ちます。

ICL7 思いやりのある人

他者の気持ちや状況に心を寄せ、相手の立場に立って考え、行動します。周囲の人々に安心感や信頼感を与え、人間関係をより良いものにしようとします。

ICL8 バランスのとれた人

心とからだの健康に心掛け、感情を適切にコントロールし、常に冷静な判断や最善の選択を行うことを大切にします。

【全日制】

1 学校経営計画

学校番号	81	学校名	静岡県立浜名高等学校 (全日制)	校長名	神村佳代
------	----	-----	---------------------	-----	------

1 スクール・ミッション

「高きを求めて文武両道に励む」百年を超える歴史と「明るく朗らか」な校風を有する北遠の普通科拠点校として、挑戦・探究による「未来創造プロジェクト」などの「志」「学力」「豊かな人間性」を育む生きた教育を通して、自己と社会の未来を創造する「気概」「能力」「品德」を持ち合わせた、時代をリードし幅広く活躍する人材の育成を目指す。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー～本校では卒業までにこのような姿勢・態度を身に付けます～

「志ある人」 Hamana ICLs (Inspired and Compassionate Lifelong-Learners)

Inspired : 好奇心旺盛で、探究心を持つ姿勢。新しい知識を得ることにワクワクしたり、目標に対し前向きに努力する態度。

Compassionate : 困っている人を助けたり、他者の視点や感情を理解しようとする態度。チームワークや社会貢献において重要な要素。

Lifelong Learners : 学校教育を超えて、生涯にわたり学び続ける姿勢。自己成長や柔軟性、時代に適応する能力の象徴。

ICL 1 探究する人

好奇心を持ち、主体的・協働的に学び、生涯を通じて学ぶ喜びを追求する人

ICL 2 考える人

複雑な問題を批判的・創造的に分析し、倫理的な判断をする人

ICL 3 コミュニケーションができる人

自他の価値観や意見を尊重し、他者と協力して目標を達成する人

ICL 4 挑戦し、振り返りができる人

不確実な状況でも前向きに挑戦し、振り返りを未来の行動や成長に活かす人

ICL 5 知識のある人

幅広い分野の知識を身に付け、地域やグローバル社会の課題に取り組む人

ICL 6 信念をもつ人

誠実で公正な行動を心がけ、他者の尊厳と権利を尊重する人

ICL 7 思いやりのある人

他者の立場や感情に共感し、人間関係をより良くするために行動する人

ICL 8 バランスのとれた人

知性・身体・感情の調和を保ち、冷静で適切な判断をする人

(2) カリキュラム・ポリシー～本校ではこのような学びを行います～

- ・生徒の多様な学習ニーズや進路希望に応じ、柔軟で選択肢の豊かな教育課程を編成し、基礎から発展まで段階的な学びが可能な環境を提供します。
- ・各教科において主体的・対話的で深い学びを重視し、ICTや個人端末等を活用した個別最適な学びと協働的な学びにより、確かな学力と主体性・協働性を育成します。
- ・未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）を中心に教科横断的な探究的学びを推進し、課題解決に向けた批判的思考力と社会的実践力を育みます。
- ・自己理解を深め進路への視野を広げる取組を通して、一人ひとりの目標を尊重し、納得感のある進路実現に向けた丁寧な指導を行います。
- ・学校行事や部活動等の体験を通して多様性を尊重し協力する態度を育むとともに、心身の調和を図り、ウェルビーイングの向上を目指します。

(3) アドミッション・ポリシー～本校ではこのような生徒を求めています～

- ・基本的な生活習慣と義務教育段階の基礎学力が身に付いており、自分の能力をより高めたい生徒
- ・行事や探究活動、部活動、地域活動等に積極的に参加し、様々な体験や経験をしたい生徒
- ・自分と他者のよさを大切にし、互いに励まし合い、学校生活において健全な人間関係を築きたい生徒

3 スクール・ポリシー具現化の柱 【 】内は各柱で重視する浜名 ICL

ア 学習指導要領に基づく授業実践と学習評価による、主体的学習姿勢と進路意識の育成

【ICL1 探究する人、ICL2 考える人】

イ 本校の特色を活かした探究的な学びの体系化と実践 【ICL1 探究する人、ICL2 考える人】

ウ 学校行事・特別活動・生徒会活動・部活動の充実

【ICL4 挑戦し、振り返りができる人、ICL8 バランスのとれた人】

エ 安全・安心な教育環境、生徒指導・支援の充実

【ICL6 信念をもつ人、ICL7 思いやりのある人】

オ 地域連携による教育活動の展開と開かれた学校運営

【ICL3 コミュニケーションができる人、ICL5 知識のある人】

カ 教職員の組織力向上と活力ある運営体制の確立

【ICL8 バランスのとれた人、ICL6 信念をもつ人】

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学習指導要領に基づく授業実践と学習評価による、主体的学習姿勢と進路意識の育成 ・ICL1 探究する人 ・ICL2 考える人	・学習指導要領に基づく指導計画を作成し、授業や単元のねらいを生徒に示す。 ・観点別評価の方法・基準を適切に定め、生徒と共有しながら指導と評価の一体化を図る。	・「授業の目標や評価基準が分かりやすく示されている」と答える生徒 85%以上。 ・「授業が分かりやすく、教え方に工夫がある」と答える生徒 85%以上。	教務課 進路課 研修課 情報・広報課 各教科 事務部
		・個人端末の活用や協働学習を通して、生徒が主体的に考え表現する力を育む授業づくりを進める。 ・授業見学等により教員同士が学び合い、授業改善に取り組む。	・「授業で、生徒の主体的な活動を促す工夫をしている」と答える教員 70%以上 ・「他教員の授業見学や情報交換等を通して授業改善に取り組んだ」と答える教員 80%以上	
		・定期考査、模擬試験等を活用し、学習状況を把握・分析し、授業改善に生かす。 ・学習支援システム等を活用して家庭学習の習慣化を図る。 ・生徒一人一人の課題を明確化し、適切な指導を通して学力向上を図る。	・模擬試験における各教科の平均全国偏差値 50 以上 ・「学習支援システム等を活用し、適切な課題配信や学習習慣への助言を行った」と答える教員 70%以上 ・大学入学共通テストにおける各教科の平均得点率 50%以上	
		・自己の在り方や生き方を考える機会を広げるため、「未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）」や「特別活動」の充実を図る。	・「未来創造プロジェクトや特別活動は、自己の在り方や生き方を主体的に考え、将来の展望を深める機会となっている」と答える生徒 70%以上。	探究推進室 教務課 生徒課 進路課 各学年
・進路情報の提供や個別面談等を充実させ、進路の自己決定を促す。 ・生徒の進路への視野と関心を広げるため、講演会や進路ガイダンス等を工夫する。	・「進路に関する情報提供や指導・助言が適切である」と答える生徒 80%以上、保護者 70%以上。 ・「自己の目標に向けて努力や挑戦を続けている」と答える生徒 85%以上。			

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
イ	本校の特色を活かした探究的な学びの体系化と実践 ・ ICL1 探究する人 ・ ICL2 考える人	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の改訂を継続検討し、探究活動推進室を中心に探究プログラムを開発・実践・改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動プログラムの実践・改善・開発を継続する。 	探究推進室 教務課 進路課 研修課 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が課題を設定し、地域や外部機関と協働して解決に取り組む活動を推進する。 探究的な学びに関する教職員研修を計画的に実施し、指導方法の改善と探究活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）」を通じて、課題発見力と解決能力が向上した」と答える生徒 85%以上。 「課題発見や課題解決を取り入れた活動を行った」と答える教員 80% 	
ウ	学校行事・特別活動・生徒会活動・部活動の充実 ・ ICL4 挑戦し、振り返りができる人 ・ ICL8 バランスのとれた人	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップと協働する力を育成するため、生徒が主体的に企画・運営に関わる機会を設ける。 多様な人々と関わる経験を広げ、共生・共育の意識を高めるため、浜北特別支援学校との交流や保育体験、地域行事・ボランティア活動への参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校行事、生徒会・委員会活動、部活動等に主体的に取り組んでいる」と答える生徒・保護者 90%以上 「地域行事やボランティア活動、国内外研修などに、個人または部活動・委員会を通して年1回以上参加した」生徒 70%以上 	教務課 生徒課 図書課 各学年 各部活動
		<ul style="list-style-type: none"> 読書習慣の定着と読書活動の充実のため、魅力ある図書館づくりを進め、読書に親しむ機会を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館を通じた読書活動が活発に行われている」と答える生徒 80%以上。 「本を読むことが好きだ」と答える生徒の割 80%以上。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の心身の健全な成長を図るため、学習と部活動を計画的で持続可能な形で進める。 生徒が地域貢献活動に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習と部活動の両立ができています」と答える生徒 80%以上 地域貢献活動等に参加した部活動 100% 	
エ	安全・安心な教育環境、生徒指導・支援の充実 ・ ICL6 信念をもつ人 ・ ICL7 思いやりのある人	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や社会生活におけるルールやマナーの大切さを指導し主体的に守ろうとする態度を育てる。 教職員と生徒が互いに耳を傾け、丁寧な言葉による対話で相互理解を深める。 道徳教育や人権教育、情報モラル教育を充実させ、規範意識や社会性、倫理観を育む指導を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら気持ちのよい挨拶をしている」と答える生徒 80%以上 「ルールやマナーの意義を理解し、主体的に行動している」と答える生徒 80%以上 学校全体に、互いを尊重し円滑にコミュニケーションを図ろうとする雰囲気がある。 「人権・情報モラルに関する授業等を通して人権意識が高まった」と答える生徒 80%以上 	総務課 生徒課 保健相談課 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の健康状態を把握し、必要に応じた助言や支援を行いながら、健康の保持・増進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断で受診が必要とされた生徒の治療率 85%以上。 	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己肯定感を育むために「ほめる・励ます」を基本とした言葉がけをする。 生徒の困難や悩み、不安に対応するため、関係機関と連携した支援体制を整え、教育相談体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「先生はよいところを認め、意欲が高まる言葉をかけてくれる」と答える生徒90%以上 「悩みや不安を安心して話せる人や機会・場所が学校にある」と答える生徒80%以上 	
		<ul style="list-style-type: none"> 清掃の充実と定期的な設備点検を行い、安全で快適な教育環境を維持・改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の整備・美化は行き届いていると答える生徒・保護者85%以上。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 危機管理意識と非常時の対応力を高めるために防災訓練や安全指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や暴風警報時の登校基準・行動を把握している生徒・保護者80%以上。 	
オ	地域連携による教育活動の展開と開かれた学校運営 ・ ICL3 コミュニケーションができる人 ・ ICL5 知識のある人	<ul style="list-style-type: none"> 「学校案内」などの広報ツールを充実させ、学校の特色や教育活動を広く発信する。 一日体験入学や学校公開の内容を充実させ、中学校訪問や学校説明会などを通して、本校の教育活動の特色や魅力を伝える。 部活動や個人活動を通して地域行事等への参加を促し、生徒が地域と関わりながら学校の魅力を発信できる機会を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒目線を取り入れた「学校案内」や「学校紹介動画」の作成。 ホームページの毎日更新。 来校者アンケートにおいて、「体験入学や広報誌などが高校選びの参考になった」と答える割合95%以上。 部活動や個人活動を通じて地域行事等に参加した生徒70%以上（再掲） 	管 理 職 総 務 課 教 務 課 生 徒 課 情 報 ・ 広 報 課 運 営 委 員
カ	教職員の組織力向上と活力ある運営体制の確立 ・ ICL8 バランスのとれた人 ・ ICL6 信念をもつ人	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に19時30分を目安とした完全下校を促す。 教職員は効率的な業務遂行に努め、おおむね20時までに退勤する。また、週1回の割合での定時退勤に努める。 業務の進捗管理と効率化のため、定期的な学年・分掌会議等により情報共有を進める。 教職員の負担軽減を図るため、各分掌・学年で業務分担を見直し、「無くす・減らす・変える」の視点から業務改善を進める。 県教委の施策を踏まえ、事務業務の効率化を進めるとともに、事務職員が校務運営に関わる機会を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がおおむね19時30分には下校している。 すべての教職員がおおむね20時までに退勤する。 「おおむね週1回は定時に退勤できた」と答える教職員80%以上 適切な情報共有が図られている。 分掌の業務を「無くす・減らす・変える」の視点で見直す機会を年2回以上設ける。 「業務の負担感・多忙感が改善された」と答える教職員50% 事務職員と教員が各学年会計および生徒会会計処理を協働で行う。 「校務運営に具体的に参画した」と答える事務職員100%。 	管 理 職 各 分 掌 各 学 年 各 教 科 事 務 部